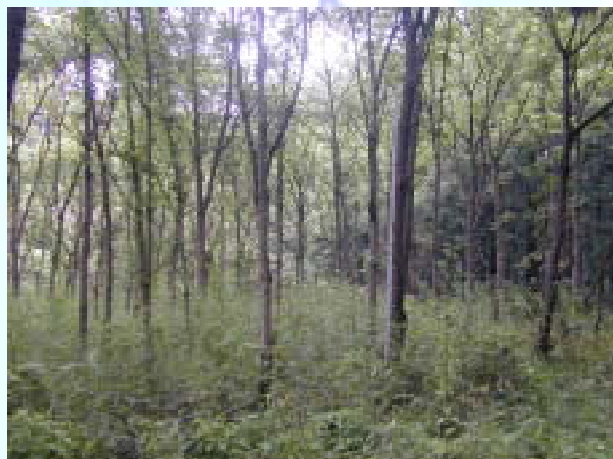


福島県林業研究センターだより

# あさかの森から

平成17年8月



ウルシ人工造林 22年生



林床のキツネノカミソリ

## ウルシ人工造林

林業研究センター内には数種の広葉樹人工造林があります。そのうちの「ウルシ」について紹介します。

植栽場所は、センター北側の笹原川の旧河川敷の埋め立て地で、正門手前の左手を川沿いに進んだ位置に「ウルシ」林2ヵ所、それぞれ0.10haあります。植栽は手前が昭和51年、奥が昭和59年で、それぞれ30年生、22年生となっています。平均樹高はそれぞれ12.6m、12.1m、平均胸高直径は13.8cm、13.4cmで、細いものは8cmから太いものは21cmまであります。

ウルシは中国原産で、古い時代からウルシ液採取用に栽培されてきました。ウルシ液は一旦乾燥すると接着力が優れており、腐蝕することがなく、熱に対する耐性もあり、酸、アルカリ、アルコール、塩分、油にも侵されないのが長所となっております。古くは縄文時代の矢じりの接着にも利用されてきました。樹液にはウルシオールが含まれ、強いアレルギー性皮膚炎を起こすことが知られていますが、重曹、弱アルカリ液で洗うと効果があるそうです。

本県では藩政時代より、会津漆器の原料として盛んに栽培されてきましたが、近年は、化学合成塗料の増大や中国産ウルシ液の輸入により、国内生産は激減しています。しかし、国産ウルシは高品質なため、その復活が望まれています。（斎藤 寛）

## 福島県のスギの材質はどうか

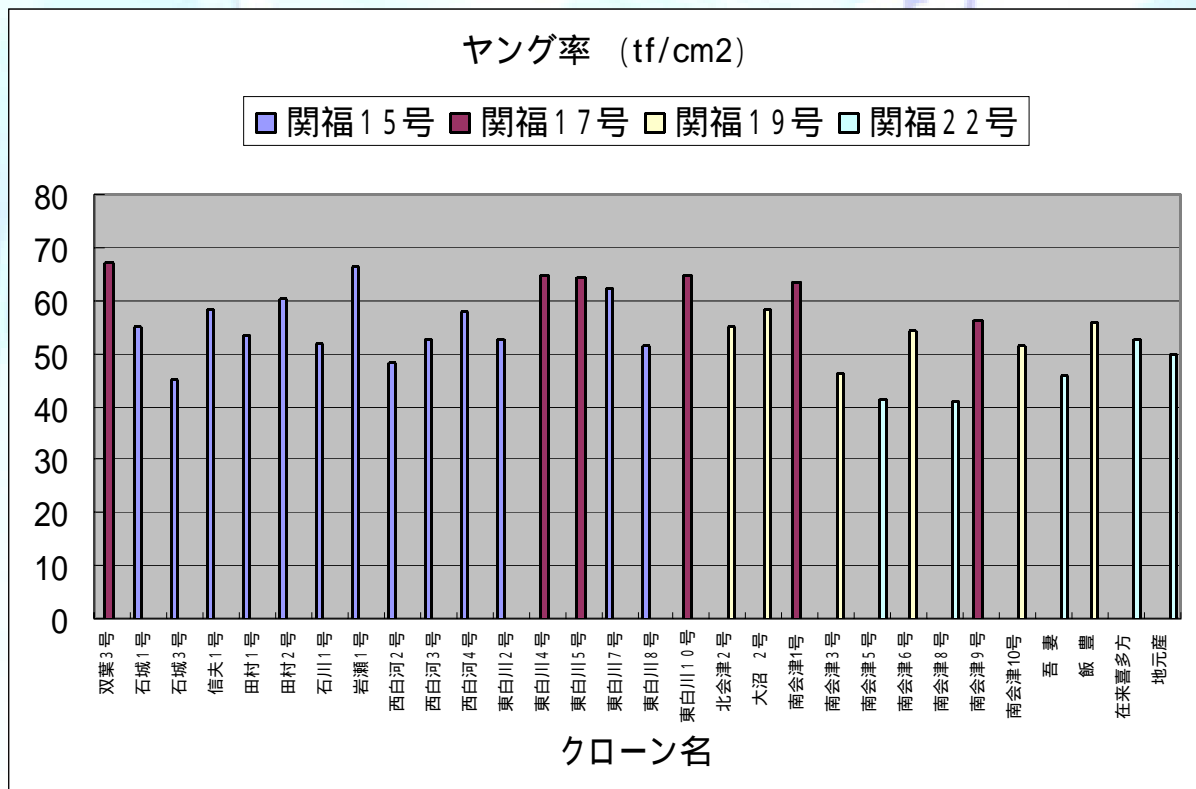
福島県内の森林から、成長・形質の特に優れた個体が選ばれ、「精英樹」として保存、増殖されています。

スギは、昭和29～34年度にかけて県内各地から70個体が選ばれました。浜通り20個体、中通り30個体、会津20個体です。精英樹からのさし木苗（クローン苗）を用いて造林し、その系統苗の遺伝的特性と環境適応性を明らかにするため、次代検定林を設定してきました。

最近の調査の中から、次の箇所の25年生の材質調査結果をお知らせします。対象クローンは十数種からの抽出です。

- ・ 関福15号（平成13年度調査）石川郡古殿町大字田口地内
- ・ 関福17号（平成14年度調査）双葉郡楢葉町大字上繁岡地内
- ・ 関福19号（平成16年度調査）会津若松市大戸町大字高川地内
- ・ 関福22号（平成15年度調査）南会津郡伊南村大字青柳地内

調査は25年生のスギ林分から各クローン3本、3反復区で合計9本の試験体での結果です。



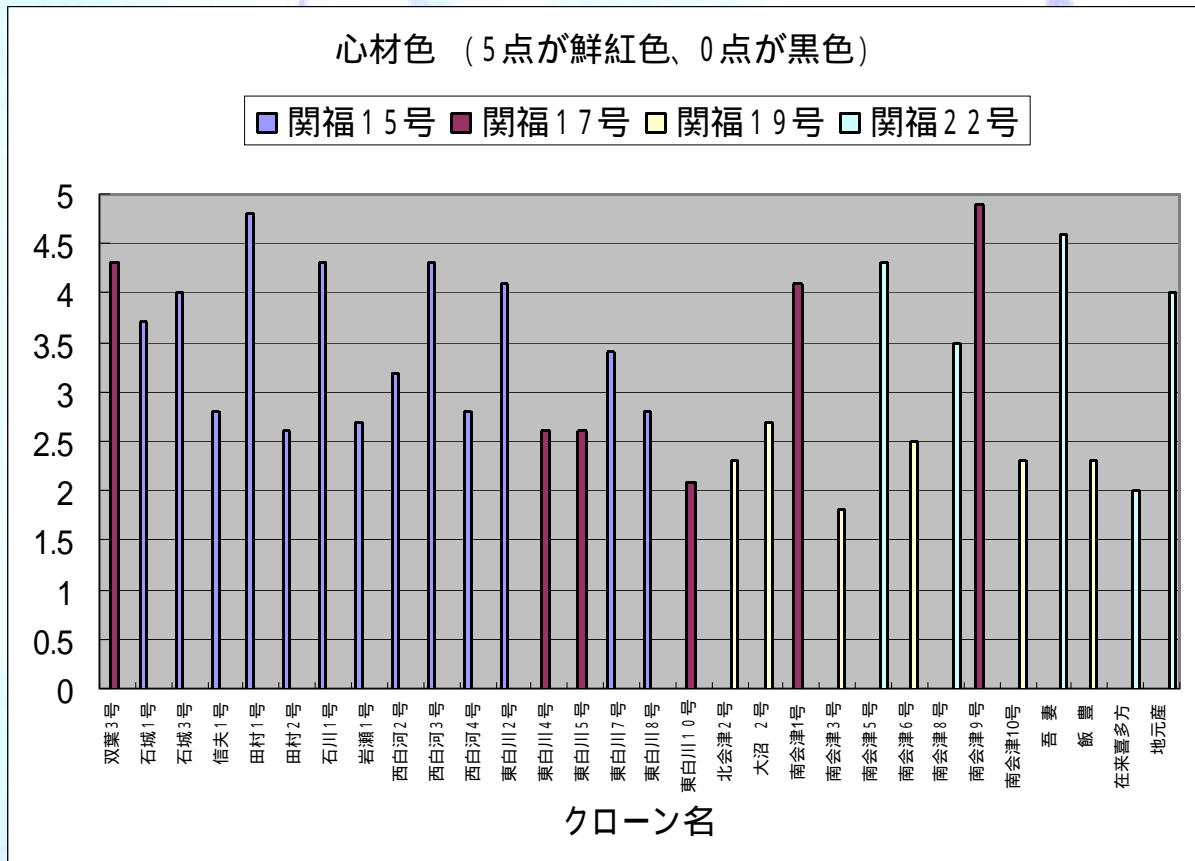
調査項目の中から、ヤング率と心材色について報告します。

## 1 ヤング率

タッピング法(木口を叩いて反対側のマイクに伝わる音の固有振動数で測定する方法)により、生材の動的ヤング率を測定します。

## 2 心材色

鮮紅色を5とし黒色を0として、5段階相対評価で行いました。



林木育種センター「スギ精英樹特性表」(平成10年4月)によれば、今回調査した中でヤング率の評価の高いものは、石城3号、田村2号、岩瀬1号、東白川5号、東白川5号、大沼2号、南会津3号、南会津5号です。心材色では、双葉3号、石城1号、信夫1号、東白川4号、大沼2号、南会津1号、南会津9号が評価の高いものです。

当センターの調査と合致しないものもありますが、調査箇所数が少ないことによるものと考えられます。

今後、数多くの調査によって、より信頼性の高いものとなることが期待されます。

(森林環境部)

## センターからのお知らせ

### 緑の雇用研修生奮闘中

新たな林業就業者を対象とした「緑の雇用研修」が、林業研究センターを中心に行われています。

11月までの20日間で、基礎研修、専門研修を実施し、各職場においては180日間の実践研修を行う予定になっています。

今年度の研修生は60名で、森林林業の基礎、刈払機やチェーンソーの安全衛生教育、現地視察等、熱心に取り組んでいます。



### 森の相談コーナー

**Q** サクラのつぎ木の方法について知りたいのですが。

**A** つぎ木には、充実した穂木と相性の良い台木が必要です。

穂木は、前年に伸長した枝を1月に切り取り、切口を水苔で保護しビニール袋に入れ、袋の口を少し開けて0～3℃の冷蔵庫に保存します。

台木は、実生2年生の根元径が鉛筆位のものを用意します。穂木の母樹が園芸品種であればオオシマザクラ、山桜系であればオオヤマザクラ、シダレザクラはエドヒガン系の変種が多いので、エドヒガンが適しています。

2月に台木を鉢に植えビニールハウスに移し、3月中～下旬に台木が芽吹き始めた頃、穂木を台木の根元から5cm位の所につぎます。穂木の長さは9cmとし、芽は3個付けておきます。つぐ時に穂木と台木の形成層を確実に接合し、つぎ木テープで固定します。ハウス内の湿度を60%以上保ちながら管理し、梅雨に入ったら畑に鉢ごと植え替えます。1年目は側芽を摘み取り、一本立ちにするのがポイントです。

### 林業研究センター公開デーのお知らせ

本年度の林業研究センター一般公開は、下記の日程で行います。

平成17年10月22日(土)～23日(日)

### 業務報告のお知らせ

林業研究センター業務報告 37を、ホームページに掲載しました。

あさかの森から 19 平成17年8月発行  
福島県林業研究センター  
〒963-0112 福島県郡山市安積町成田字西島坂1番地  
TEL 024-945-2160 FAX 024-945-2147  
URL <http://www.pref.fukushima.jp/ringyoukenkyuu/index.html>  
E-mail [forestry.rc@pref.fukushima.jp](mailto:forestry.rc@pref.fukushima.jp)